

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 <<家庭(家庭)>>

※詳細については、資料Ⅱ(家庭-3～家庭-5)を参照

発行者の略称	東書	書名	新しい家庭
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「知識・技能」の習得に関して、巻頭や巻末の「いつも確かめよう」が掲載され、基礎的スキルについてまとめられている。 □ 「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、各題材でステップ1・2で身につけた知識・技能を活用してステップ3で課題解決に取り組む活動が設定されている。 □ 「学びに向かう力・人間性等」に関して、自ら課題を設定し、計画を検討し、実践、まとめ・発表、評価・改善をする形式が、複数箇所設定されている。 		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に掲げた、次の内容に沿っているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「思いやる力」に関して、他者を尊重し思いやる力を育めるよう、家族や地域の人と関わる体験などの題材が、複数箇所設定されている。 □ 「たくましく生きる力」に関連して、食事の必要性や栄養に関する内容が系統的に繰り返し設定されている。 □ 「社会とかかわる力」に関連して、家庭や地域で自分ができることを考え工夫するような題材が設定されている。 		
3 内容と構成	<p><<教科・種目共通部分>></p> <p>○ 学習指導要領の改訂ポイントを踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 主体的・対話的で深い学びとなるように、学習の流れが例示され、問題解決的な学習やふり返りを生活に生かすなどの展開につながる題材が随所に設定されている。 □ 他教科との学びのつながりに関して、英語や社会、理科、保健体育、道徳等と関連がある箇所に特別なマークが配置されている。 <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 言語活動の充実に関して、授業で学んだ知識・技能を生かして課題を設定し、調べたことをレポートにまとめ、それを基に発表するような題材が随所に設定されている。 □ 伝統や文化に関して、衣・食・住などに関連する伝統的な日本文化が随所に取り上げられている。 □ 体験活動の充実に関して、実習の際に確認しやすいように、文章による説明に加え、大きい写真が随所で提示され、詳しい手順が示されている。 □ 学校段階間の円滑な接続に関して、既習事項や第5・6学年の学習内容、それ以降中学校での学びの継続が「山の図」で示されている。 □ 情報活用能力に関して、ICT機器を活用する場面などが、イラストや吹き出しなどで表示されている。 □ 児童の学習上の困難さに関して、見通しを立てやすくなるよう各題材の導入時にタイトル、リード文、ステップ1から3の学習の流れが例示されている。 <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能を必要な時に確認できるよう、巻末の「いつも確かめよう」に写真や図でまとめられている。 <p><<各教科・種目独自の観点>></p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「生活の営みにかかる見方・考え方」を働かせて生活を見つめるために、各題材の冒頭「家庭科の窓」で重視したい視点が示されている。 □ 第5学年で基礎的な知識・技能を学び、第6学年でさらに難度の高い知識・技能の習得につながるような実習題材が配列されている。 □ 学習の導入時において、身近な生活の場面で課題に気づくような写真やイラストが複数箇所、配置されている。 		
4 分量・装丁表記等	<ul style="list-style-type: none"> □ 実習や学習環境等の準備がしやすいよう、第5・6学年で指導内容を同時期に行うような配列がされている。 □ A4判で、表紙は防水加工になっている。開いた状態を保てる。 □ ユニバーサルデザイン教科書体を使用している。安全、防災、日本の伝統等に注目するための各種マークが設定されている。 		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 <<家庭(家庭)>>

※詳細については、資料Ⅱ(家庭-3～家庭-5)を参照

発行者の略称	開隆堂	書名	わたしたちの家庭科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「知識・技能」の習得に関して、生活を見つめ、身につけた知識や技能を生活に生かせるよう、児童が想起しやすい場面が設定されている。 □ 「思考力・判断力・表現力等」の育成に関して、「考えよう」「やってみよう」「話しあおう」など、知識・技能を活用し課題を解決する題材が随所に設定されている。 □ 「学びに向かう力・人間性等」に関して、習得した知識・技能を生活につなげる「できたかな」「ふり返ろう」「生活に生かそう」などの欄が各題材に設定されている。 		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に掲げた、次の内容に沿っているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「思いやる力」に関連して、多様性を認め合い、思いやる心を育めるよう、地域で暮らす様々な人が紹介された題材が、複数箇所設定されている。 □ 「たくましく生きる力」に関連して、食事の大切さに関心を持ち、食生活を組み立て、生活に生かす題材が設定されている。 □ 「社会とかかわる力」に関連して、家庭や地域で自分ができることを考え工夫するような題材が設定されている。 		
3 内容と構成	<p><<教科・種目共通部分>></p> <p>○学習指導要領の改訂ポイントを踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 主体的・対話的で深い学びとなるよう、課題設定、知識・技能の習得、生活に生かす、の3ステップの学習と、他者と交流し考えを深めるコーナーが設定されている。 □ 他教科の関連と2年間の学習の見通しがもてるよう、冒頭に関連のある他教科や題材内容がイラストで示された、ガイダンスのページが設定されている。 <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 言語活動の充実に関して、実践的・体験的な活動のなかで話し合いや思考、意見を述べるなどの場面が随所に設定されている。 □ 伝統や文化に関して、先人の知恵や工夫などの文化に気づくことができるよう、和食や住まいの工夫などが取り上げられている。 □ 体験活動の充実に関して、実習の場面では手順を絵や写真、映像で確認できるよう設定されている。 □ 学校段階間の円滑な接続に関して、2年間の学習の最後において、知識・技能を確認するとともに、中学校での学習のつながりが図や写真を用いて示されている。 □ 情報活用能力の育成について、インターネットを活用した資料収集をする活動が設定されている。 □ 児童の学習上の困難さに関して、実習の見通しを持ち内容が理解しやすくなるよう、写真や図版等資料が手順に沿って左から右に掲載されている。 <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 学習内容の理解を助けるために、根拠となる写真や図版、イラスト等資料が複数箇所に掲載されている。 <p><<各教科・種目独自の観点>></p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「生活の営みにかかる見方・考え方」を働かせて生活を見つめるよう、四つ葉のクローバーのキャラクターにより重視する視点が示されている。 □ 知識・技能の定着を図るため、調理メニューを複数掲載するなど、実践的・体験的な活動実践例が随所に示されている。 □ 自ら課題を設定できるように、生活の様々な場面を想起し、着目したりできる写真やイラストが複数箇所で掲載されている。 		
4 分量・装丁表記等	<ul style="list-style-type: none"> □ 題材が細かく設定されており、学校によって題材の組み換えがしやすい。 □ A B判で、表紙は防水加工になっている。開いた状態を保てる。 □ ユニバーサルデザイン教科書体を使用している。安全、防災、伝統文化等、注目するための各種のマークが設定されている。 		

【資料Ⅱ】

教科種目名 《家庭（家庭）》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	基礎的技能について、巻頭2ページや巻末130ページの「いつも確かめよう」にまとめられている。
開隆堂	自分の生活を見つめ、身につけた知識や技能を生活に生かせるよう、児童が想起しやすい場面が設定されている。（例 67ページ、89ページ、92ページ）
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	各題材とも3つのステップで構成され、1・2で身につけた知識・技能を活用してステップ3で課題解決に取り組む活動が設定されている。（例 78ページ…知識、80ページ…技能、85ページ…生活に生かす）
開隆堂	身につけた知識や技能を活用して、課題の解決に取り組めるよう、各題材に「考えよう」「やってみよう」「話しあおう」などの小課題が随所に設けられている。（例 60ページ、62ページ、63ページ）
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	課題解決学習を進める手順として、「課題の設定、計画、実践、まとめ・発表、評価・改善」が複数箇所、設定されている。（31ページ、61ページ、95ページ、115ページ、128ページ）
開隆堂	題材を通してできたことを実感し、将来に生かしていけるよう、「学習のめあて」「できたかな」「振り返ろう」「生活に生かそう」の欄が設定されている。（例 10ページ、14ページ、19ページ）

2 かながわ教育ビジョンとの関連

① [思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる上での題材例や工夫・配慮	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育など)	
東書	家族の一員として、家庭や地域とどのように関わっていけばよいかを考え、他者を尊重し思いやる心を育む題材「あなたは家庭や地域の宝物」(122～127ページ)などが設定されている。
開隆堂	多様性を認め合い思いやる心を育めるよう、周囲の人とのかかわりを考えたり、地域で暮らす様々な人を知ったりするような題材が設定されている。（例 72～74ページ、120～123ページ）
② [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる上での題材例や工夫・配慮	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力など)	
東書	食事の大切さや栄養に関する内容を系統的に繰り返し学習する題材や、食事のマナーやほかの人と一緒に食べることの大切さが示された題材が設定されている。（40ページ、78ページ、106ページ）
開隆堂	毎日の食事の大切さに関心を持ち、実生活につながるような題材構成が設定されている。（48～56ページ食べて元気に）
③ [社会とかがわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献できる力を育てる上での題材例や工夫・配慮	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動など)	
東書	2年間の学習を通して身につけた力をもとに、家庭や地域で自分ができることを考えるような地域との関わりを見つける題材「あなたは家庭や地域の宝物」(122～127ページ)が、最後に設定されている。
開隆堂	地域に目を向け、地域の人々との関わり大切さに気づき、できることを実行していけるような題材「共に生きる地域での生活」(120ページ)が設定されており、地域の関わり活動の具体例が示されている。

3 内容と構成

○小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮

① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	問題解決的な学習に取り組んだり、振り返りを生活に生かそうとする展開につながるよう、各題材の冒頭で学習の流れを明示し、見通しをもって学習を進めるような構成に設定されている。（例 14ページ、24ページなど）
開隆堂	課題を設定し、解決のための知識・技能の習得、さらに自分の生活に生かすなど、3つのステップで学習し、他者と交流し自分の考えを深める場面が随所に設定されている。（4、5ページで図示）

② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育段階9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、子どもが学習を進めたり先生が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	家庭科に関係がある英単語が右下ページにイラストとともに記載され、次ページ左下に日本語が示されている。他教科や中学校とのつながりの内容が扱われている箇所に特別なマークが配置されている。(例 87ページ、93ページ、107ページ、122ページ)
開隆堂	冒頭、表紙裏に関連のある他教科の内容をイラストで示すとともに、2年間の学習の見通しがもてるようガイドンスのページ「はじめよう!家庭科」(1~2ページ)が設けられている。

○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮

③ 言語能力の確実な育成に資する工夫や配慮	
東書	「物を生かして快適に生活しよう」(56ページ)では、調べたことをレポートにまとめ、それを基に発表するような言語能力の育成を図った題材が設定されている。
開隆堂	P91~93「クリーン大作戦」(91~93ページ)では、実践的・体験的な活動を通して、話し合いや思考、意見を述べるなどの言語活動ができる題材が設定されている。

④ 伝統や文化に関する教育の充実に資する工夫や配慮	
東書	衣食住に関連する内容について、和食や手ぬぐいなど伝統的な日本文化を取り上げるとともに、注目させるため「日本の伝統マーク」が配置されている。(例 12ページ、57ページ、63ページ、94ページなど)
開隆堂	キャラクターの吹き出しのことば等から、先人の知恵や工夫などの文化に気づくことができるよう、和食や郷土料理、伝統的な民家や和服等が取り上げられている。

⑤ 体験活動の充実に資する工夫や配慮	
東書	P130「いろいろな切り方」のように文章による説明だけでなく、大きい写真を提示し、実習での詳しい手順を示している。
開隆堂	実習や製作場面では、手順を絵や写真、映像で確認できるように設定されている。(例 38~47ページなど)

⑥ 学校段階間の円滑な接続に資する工夫や配慮	
東書	自立した主体的に生きる力の育成を目指す家庭科の目標をふまえ、既習事項、5年・6年の学習内容、それ以降中学校での学びの継続を山の図で示している。(1~2ページ、73ページ、129ページ)
開隆堂	学習をふり返り、できるようになったことを確認し、中学校での学習とのつながりを意識するページが、図や写真を用いて示されている。(126~127ページ)

⑦ 情報活用能力の育成に資する工夫や配慮	
東書	I C T機器を活用する場面などが、イラストや吹き出しなどで表示されている。(例54ページ、117ページ)
開隆堂	デジタルコンテンツによる情報の活用や、インターネットでの情報収集の仕方の具体例が示されている。(67ページ)

⑧ 児童の学習上の困難さに応じた工夫や配慮	
東書	学習の見通しが立てやすいように、題材の導入時に、タイトル、リード文、ステップ1から3の学習の流れがわかるタイトルが示されている。(各題材 例 15ページ)
開隆堂	実習の見通しを持ち内容が理解しやすくなるよう、写真や図版等資料が手順に沿って左から右に掲載されている。(例 11ページ、22ページ)

⑨ ○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮	
東書	「いつも確かめよう」(130~144ページ)に、生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能がまとめられている。(包丁の扱い・針と布をもってぬう・布をたつ、を実寸大の写真、説明文、イラストで説明している。)
開隆堂	学習内容の理解を助けるために、根拠となる写真や図版、イラスト等資料が掲載されている。(例 88ページ、96ページ)

⑩ 生活の営みに係る見方・考え方を踏まえた内容となるよう、題材の工夫や配慮はなされているか。	
東書	巻頭で見方・考え方について説明し、「生活の営みにかかる見方・考え方」を働かせて生活を見つめるために、題材の冒頭「家庭科の窓」やキャラクターにおいて重視すべき点が示されている。(例 6、7ページ、10ページ、13ページ)
開隆堂	巻頭で家庭科の見方・考え方について説明し、4つの視点を踏まえて学習を進めていくため、キャラクターによって具体的に見方・考え方が示されている。(例 1ページ、31ページ、71ページ)

⑪ 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識・及び技能の習得を図るために、実践的・体験的な活動を題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	基礎的な知識・技術を第5学年で学習し、第6学年でそれを生かしてさらに難度の高い技術の習得になるように題材が配列されている。(例 18ページ…ゆでる調理、112ページ…ゆでる調理と焼く調理の組み合わせ)
開隆堂	知識・技能の定着を図るため、自らの課題を設定しやすくなるような実践的・体験的な活動実践例が随所に示されている。(例86ページ、87ページ、89ページ)

⑫ 生活の中から問題を見出して課題を設定し、課題を解決する学習過程を工夫した題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	導入時において、身近な生活の場面で、課題に気づくような大きな写真やイラストが配置されている。(例 8ページ、50ページ、78ページ)
開隆堂	生活の様々な場面を想起させたり、着目させたりする写真やイラストがあり、自分なりに考えて課題を設定し、計画を検討し、実践・振り返りをする形式が設定されている。(例 28ページ、58ページ)

4 分量・装丁・表記等

① ○各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	複式学級や実習、学習環境等の準備がしやすいように、第5・6学年で時期により指導内容を同時期に行うような配列がされている。(裏表紙～2ページ)
開隆堂	題材が細かく設定されており、学校によって題材の組み換えがしやすい。内容Aは、5つに分けて配列されている。(1～2ページ)

② ○体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮	
東書	A4判で、表紙は防水加工になっている。開いた状態を保てる。
開隆堂	A5判で、表紙は防水加工になっている。開いた状態を保てる。

③ ○文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮	
東書	ユニバーサルデザイン教科書体を使用している。安全、防災、日本の伝統等に注目するための各種マークが設定されている。(5ページ)
開隆堂	ユニバーサルデザイン教科書体を使用している。安全、防災、伝統文化等、注目するための各種のマークが設定されている。(3ページ)

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等の掲載	
開隆堂	地域のおやつとして、「へらへらだんご」が掲載されている。(75ページ)

② URL、二次元コード等の掲載の有無	東書			開隆堂		
			5・6年			5・6年
			有			有

③ 一冊ごとの重量 (g)										
発行者名	総冊数	1年上	1年下	2年上	2年下	3年上	3年下	4年上	4年下	5・6年
東書	1									342
開隆堂	1									309